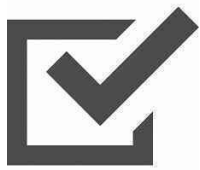


事業③実績

先導事例を創出する



事業③概要：先導事例を創出する

- 試行的に北海道での事例創出を行い、政策適用に向けたモデルケースを構築
 - 実施する上では専門家（北海道大学）等と連携し、効果を評価
 - 「**やれるかも？**」と思わせる事例の創出を目指す

プラスチック削減の促進



【アウトカムの定義】

- ・ コンビニでのレジ袋収受率の低減

【介入方法】

- ・ 必要な場合はカード提示等

【適用するナッジの要素】

- ・ 非配布をデフォルト化等
- ※ 経済産業省ナッジユニットが実証

新北海道スタイルの促進

【アウトカムの定義】

- ・ 食堂における消毒液の利用率向上

【介入方法】

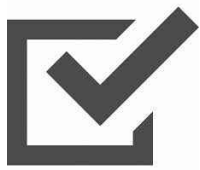
- ・ 強調アイコン敷設、POP掲示

【適用するナッジの要素】

- ・ 視覚強調、社会規範
- ※ 宇治市及びつくば市が実証



そのほか北海道大学行動科学講座等
アカデミアと連携の上、
いくつかの事例創出を検討



事業③実績（事例創出の種別）

（1）全国共通課題への取り組み

目的

新型コロナウイルス感染症対策等の全国共通課題に対し、国内の既存事例で得られたナッジ等の知見を導入し、その有用性を道内に示す。

事例① 本庁玄関での消毒剤利用促進（新北海道スタイル推進）

事例② セイコーマート北海道庁店におけるレジ袋辞退促進

（2）道内地域課題への取り組み

目的

道内地域課題に対し、ナッジ等を活用したモデルケースを創出する。
※令和2年度、3年度の2か年で実施。

事例③ エゾシカのロードキル対策（交通事故対策）

事例④ ヒグマの人里侵入対策

（3）事例検討に向けての基礎調査

目的

北海道大学環境社会心理学研究室と連携のうえ、小売店舗を対象とした現地観察及び事業検討を実施。

事例⑤ レジ袋有料化後の実態調査

(1) 全国共通課題への取組み



事業③実績 (1) 全国共通課題

【目的】 新型コロナウイルス感染症対策等の全国共通課題 に対して、国内の既存事例 で得られたナッジ等の知見を導入し、その有用性を道内に示す。



消毒剤の利用促進 (宇治市の事例)



○ 北海道本庁舎玄関における消毒剤の利用促進に適用 (事例①)



コンビニでのレジ袋削減 (経済産業省の事例)

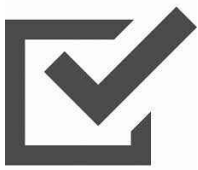
カードの種類	海洋ごみの写真を付したカード	諸外国における規制状況を付したカード	「レジ袋が必要な方はカードを提示してください」	「レジ袋が不要な方はカードを提示してください」
デフォルト設定	申告による配布	申告による配布	申告による配布	申告による辞退
実施前の辞退率	24.5%	20.8%	21.8%	23.1%
1/27~1/31	28.7%	54.2%	44.1%	24.2%
2/3~2/7	65.7%	63.9%	50.2%	25.0%
2/10~2/14	74.5%	49.0%	49.7%	23.5%
終了後(カード無し)の辞退率	62.8%	41.6%	47.0%	25.8%

○ セイコーマート北海道庁店におけるレジ袋の削減に適用 (事例②)

事例①

道本庁舎玄関における消毒剤利用促進策





事例①

道本庁舎玄関における消毒剤利用促進策

【目的】 一般来庁者の正面玄関口における消毒剤利用率向上を図る

※ 在庫の限られる消毒剤は一般来庁者優先であり、滞在する道職員は手洗いを励行するものと整理

【背景】

- 道内で感染拡大が続く中、指揮を執る道本庁における感染を防ぐことは極めて重要であり、そのためにはウイルスを持ち込ませない（入庁時に防ぐ）体制構築が必要
- その除去には手洗いが有効ではあるものの、本庁玄関口には手近に存在しないことから、対策にはエタノールによる手の消毒が有効
- 一方、正面玄関口に設置されている消毒剤の使用率は**26%**と**低水準**（n=162）

【介入手法設計】

アウトカムの定義	手指消毒率の向上
対象箇所	本庁舎正面玄関口
対象者	一般来庁者

現場を観測し「**ここでは何が必要か**」
既存の宇治市・つくば市事例をローカライズ

現場分析

介入策

- ① 消毒剤の来庁者道線上配置
- ② 矢印テープ敷設誘導による認知強化
- ③ 警備員による消毒剤誘導
(手で矢印方向を示しながら声掛け)





事例①

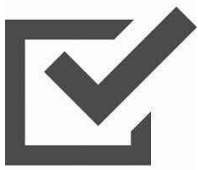
道本庁舎玄関における消毒剤利用促進策

Before



After





事例①

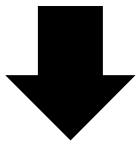
道本庁舎玄関における消毒剤利用促進策

検証評価

【調査内容】 目視での消毒剤利用率 【時間】 10:30~11:00 【対象】 一般来庁者
【調査項目】 消毒剤利用有無、性別、年齢（大分類）、車利用、服装の傾向（スーツ等）

介入前調査
(4日平均, n=176)

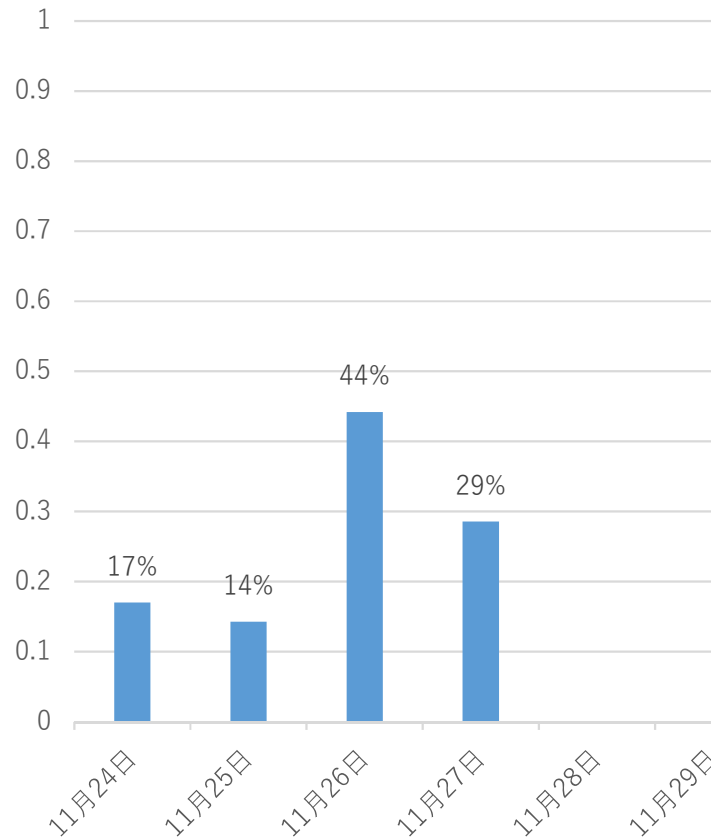
26 %



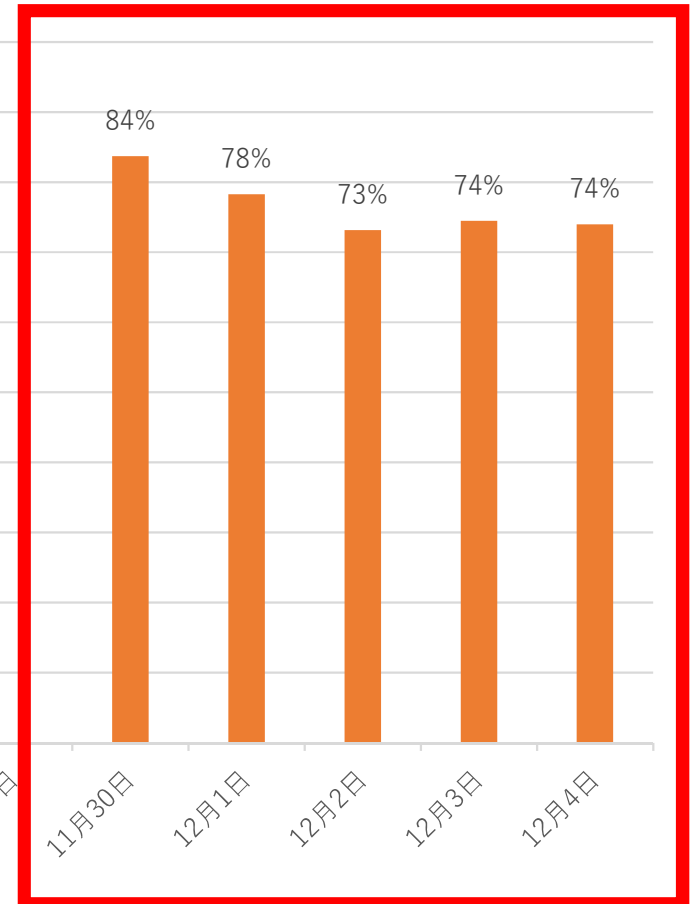
介入後調査
(5日平均, n=227)

77 %

Before



After



□ 期間後にも1週1回単位で観測 → R3.1末時点で**50%程度**まで低下

□ 呼び掛けの減少が一因と示唆される → **行動を継続させるためには定期的な介入が必要**